

1 プロジェクトのねらい

岩手県の強みである広大な農地、多様な森林資源、豊富な漁場を背景に、情報通信技術（ICT）やロボット等の最先端技術を最大限に活用した生産現場のイノベーションによる飛躍的な生産性の向上、農林水産物の新たな価値の創出等の取組を通じて、農林水産業の高度化を推進し、収益性の高い農林水産業の実現を目指す。

2 課題と展望

- モノのインターネット（IoT）や人工知能（AI）、ロボット等の活用など、第4次産業革命の流れを農林水産業の振興につなげ、イノベーションの力で様々な課題を解決することが重要。
- 今後、農林漁業従事者の減少や高齢化が一層進行する中で、岩手県の農林水産業の持続的な発展を図るためには、次代を担う新規就業者を確保・育成するとともに、情報通信技術（ICT）やロボット等の最先端技術の導入により、生産性の向上や経営の高度化を促進することが必要。
- 地域資源を活用した商品開発や市場価値の高い新たな品目の生産、都市農村交流活動の促進等により、豊かな自然と共生し、いきいきと暮らすことができる「活力ある農山漁村」を実現していくことが必要。

4 取組状況及び今後の取組方向

主な取組内容	短期的 (2019~2022)	中期的 (2023~2026)	長期的 (2027~)
農 業	(1) 世界有数の遺伝子資源、ゲノム解析技術を活用した新品種の開発 (2) 環境制御技術の実証研究 (3) 野菜等の機能性成分の分析 (4) ゲノム解析技術を活用した優良種雄牛の造成 (5) 家畜管理へのICT機器導入実証 (6) スマート農業技術の実証研究	超多収・高品質を実現する技術の構築 機能性商品等の開発支援 ICT機器の導入促進 全自動化技術の構築	新品種の導入・普及 技術の導入・普及 商品化 全自動農業の実現
1 先端技術の活用等による農業生産性革命の推進			
林 業	(1) 航空レーザ計測等ICT技術、高性能林業機械の導入促進 (2) 林業就業者への知識・技術習得の支援 (3) 広葉樹等を利用した木材製品の開発、PR (4) アカマンCLTの実用化 (5) 地域内エコシステム導入手法検討	アカマンCLTを活用した建築物の建築促進 地域内エコシステムの導入促進	スマート林業による成長産業化の実現
2 豊富で多様な森林資源を活用した林業の成長産業化の推進			
水 産 業	(1) ICT技術を活用した漁場予測等革新技術の導入促進 (2) 漁業就業者への知識・技術習得の支援 (3) 高度なつくり育てる漁業の推進 サケ資源造成手法検討 (4) 漁港水域での増養殖試験 (5) 加工原料の多様化やロボット等先端技術の活用による水産加工業の振興	ゲノム解析等によるサケ資源研究 増養殖技術の実用化・導入促進	スマート漁業の実現 サケ資源の造成
3 生産技術の高度化や水産資源の造成等による攻めの地域漁業の推進			
農山漁村	(1) 地域資源を活用した商品開発、販路の開拓・拡大 (2) 新品目の栽培実証 (3) 食文化等の継承・発展、都市農村等交流活動の促進	新品目の生産振興	
4 個性が輝く地域資源を活用した農産漁村の活性化			

3 プロジェクトの目指す姿

農 業

世界有数の岩手県独自の遺伝子資源、ゲノム解析技術を活用した新品種の開発や、スマート農業を超える「全自動農業」による更なる生産活動の省力化・効率化などにより、飛躍的な生産性・収益力の向上が図られている。

林 業

航空レーザ計測技術や高性能林業機械の導入による林業生産活動の省力化や、広葉樹等を利用した製品開発を通じた新たな木材需要の創出などにより、地域経済をけん引する産業として成長している。

水 産 業

情報通信技術（ICT）を活用した漁場予測技術の導入や、ゲノム解析技術等を活用した高水温に強いサケ資源の造成、新たな増養殖技術の開発などにより漁業生産量の拡大と収益力の向上が図られている。

農山漁村

地域資源を活用した商品開発や、市場価値の高い新たな品目の生産、都市農村交流活動の促進などにより、所得の拡大や地域の活性化が図られている。



5 令和4年度の主な取組

【自動操舵トラクタ】

【直進アシスト田植機】

【ドローン防除技術】

【複合環境制御技術】

【遠隔操縦除草機】

【分娩看視カメラ】

【ICTを利用した共同放牧場管理】

【新しいりんどう品種開発】

【高性能林業機械の導入】

【いわて林業アカデミー】

【サケ・マス類の海面養殖事業化の推進】

【サケ・マス類の養殖用種苗作出】

【アマガサタケ栽培技術】